

平成24年1月16日

千寿第五小学校・五反野小学校 保護者・関係者のみなさんへ

「千寿第五小学校と五反野小学校の適正規模・適正配置実施計画」

意見交換の記録

発行：足立区教育委員会事務局
学校適正配置担当課
電話：03-3880-5426（直通）

平成23年7月に実施計画（案）を公表後、両校で保護者説明会を開催させていただきました。その時の意見交換の内容と、あらためて教育委員会の方針をお伝えするため、10/27（木）から11/12（土）にかけて、両校の保護者のみなさまへの説明会を開催しました。ご出席いただきありがとうございました。

この資料は、その時の意見交換の内容や、開かれた学校づくり協議会などでいただいた主な意見をまとめたものです。

両校の保護者説明会等の主な対応

日にち	千寿第五小学校	五反野小学校
9月3日	地域・保護者への説明（公聴会）	
10月12日	平成24年度入学予定者向け説明会	
10月15日	地域・保護者への説明（公聴会）	
10月18日		平成24年度入学予定者向け説明会
10月20日		開かれた学校づくり協議会
10月27日	保護者説明会	
11月7日	保護者説明会	
11月10日		保護者説明会
11月12日	保護者説明会	保護者説明会（2回実施）
12月9日		関係町会長との意見交換会

千寿第五小学校の開かれた学校づくり協議会が地域や保護者にご案内を出した意見交換の場

千寿第五小学校の保護者・地域のみなさんからいただいた主な意見と教育委員会からの回答

Q 防災機能等に関すること

学校は防災や地域コミュニティの拠点です。防災機能や跡利用が決まっていな中で統合計画を推進できるのでしょうか。特に、災害時の避難所としての重要性をどのように考えていますか。

統合にあたり、千寿第五小学校のプールを解体してプレハブ校舎を建設すると聞きましたが、プールは地域の大切な防災用水です。

A

千寿第五小学校の地域は密集地域でもあり、防災的な機能が必要だということは教育委員会としても認識しています。跡利用についても可能な限り同時並行で議論を進めていきたいと考えています。

限られた面積の中でも可能な限り校庭を確保するために、プールの位置にプレハブ校舎を建設することも検討しています。防火用水については足立消防署と調整を進めていきます。

Q

子どもたちに関すること

教育委員会は千寿第五小学校を統合する前提で話をしており、子どもたちは不安を抱えています。子どもたちの心のケアをどのように考えていますか。

千寿第五小学校の敷地にプレハブを建設する場合、校庭がせまくなると思います。そのような環境で災害があった時に子どもたちの安全を確保できますか。

梅田一丁目に住んでいますが、来年4月に千寿第五小学校へ入学希望しています。25年度に下の子どもが入学する時に学区域は梅島第二小学校になりますが、その場合、統合校を希望すると抽選になってしまうのでしょうか。

千寿第五小学校にある学童保育室は、統合後になくなっていくのでしょうか。

A

統合にあたりましては、子どもたちが不安にならないように両校での交流事業等を考えています。子どもたちの心のケアは教育委員会あげて対応します。もちろん、地域の方々のご協力もいただきたいと思います。

プレハブを建設することで、どのくらいの面積の校庭が残るのか検討中です。現在、具体的な案をお示しできるように準備を進めています。災害時の子どもたちの避難方法はプレハブを建設した後の状況を踏まえ、一番安全な避難方法を検討していきます。

統合に伴って学区域変更になる、梅田一丁目、梅田三丁目の一部につきましては、兄弟関係が続く間は抽選とせず入学していただけるよう配慮します。

統合後の2年間は、現在の千寿第五小学校にある学童保育室をそのまま残す予定です。最終的に統合新校の位置か、または跡地活用の中で千寿第五小学校の位置のどちらに設置するのか、担当課と検討を進めていきます。現時点では、学童保育室がなくなるとは考えていません。

Q

設計、地域説明会等について

仮に統合して五反野小学校の位置に統合校を建設する場合、校舎やプール、体育館の配置等の新校舎の設計図はいつ頃提示していただけるのでしょうか。具体的に提示されないと判断できません。

両校の保護者に対する合同説明会を開催すべきではないでしょうか。また、地域住民に対する説明も行うべきではないでしょうか。

実施計画（案）を取るためにはどのような事務手続きが必要になるのですか。また、千寿第五小学校の反対がこれだけあっても計画を決定するつもりなのですか。

A

教育委員会と区議会文教委員会で設計等の事務手続きを進めていく報告をしました。今後、契約の事務手続きを進めていきますので、基本構想・基本計画などを作り上げ、設計図としてお示しするにはもう少し時間をいただくことになります。

両校合同での保護者説明会や地域への説明につきましては、町会長および両校のPTA会長等に趣旨や方法などを含めて相談し検討したいと考えています。

これまでの両校の保護者や学校関係者のみなさまのご意見等を総合的に判断し、12月を目途に区長の決定を受けたいと考えています。現在は、そのための事務手続きを進めています。

五反野小学校 開かれた学校づくり協議会の委員のみなさんからいただいた主な意見と教育委員会からの回答

Q 実施計画が案であることが両校の地域や保護者を不安にさせていると思います。行政として責任を持って早期に計画を決定すべきではないでしょうか。

案が取れたとしても千寿第五小学校の協力を得られない場合は、どのように進めていくのでしょうか。

両校の開かれた学校づくり協議会の代表の方を委員として選出していただき、統合地域協議会を立ち上げたいと保護者説明会での記録では書いてありますが、早急に立ち上げられるのでしょうか。

五反野小学校は来年 60 周年を迎えます。その後に統合となる計画ですが、千寿第五小学校の反対がある中で、スケジュールどおり進めていけるのでしょうか。

五反野小学校では、これまでの学校理事会を廃止し、10月1日から教育委員会が提案する「開かれた学校づくり協議会型コミュニティ・スクール」に移行しました。こうした情報を千寿第五小学校に説明をしていますか。

A 案のままであることで、このスケジュールどおり進むのが不安を与えてしまっていると教育委員会でも考えています。12月には実施計画として決定するよう事務手続きを進めています。

教育委員会が主導する形で進めていきますが、統合後の関係もありますので、今後も協力を得られるように努めていきます。

千寿第五小学校の皆さんからは反対の意見も多く、すぐには難しいと考えていますが、少しでもご理解をいただき統合地域協議会を立ち上げられるよう働きかけていきます。

実施計画(案)でお示ししたとおりのスケジュールで進めていきたいという教育委員会の方針に変更はありません。千寿第五小学校の関係者のみなさまとの意見交換をしていく中で、少しでも理解を得て進めていきたいと考えています。

教育委員会では、開かれた学校づくり協議会に学校運営協議会の機能を付加した「開かれた学校づくり協議会型コミュニティ・スクール」(「開かれ型CS」)の設置拡大を進めています。五反野小学校もこの「開かれ型CS」に移行したことを説明いたしました。

Q 子どもたちに関すること

千寿第五小学校での統合反対の声がある中で、両校の子どもたちや保護者同士の関係が上手く築けるのか不安があります。なるべく早く子どもたちの交流事業を実施して子どもたちが仲良くなるようにしてください。

千寿第五小学校では統合反対の署名活動が行われ、ポスターが町の掲示板等に貼られており、子どもたちに不安が広がっています。統合にあたって、両校の先生は統合校にどれくらい残っていただけるのでしょうか。

統合に伴い現在の学童保育室はどこに設置するのでしょうか。

千寿第五小学校と五反野小学校では、宿題の出し方が違ったり、校風が違うというイメージがあります。統合して子どもたちが上手くとけ込めるか不安です。

両校合同での保護者説明会を開催することについて、教育委員会はどのように考えていますか。

教育委員会では、統合校はコミュニティ・スクールとして指定するのでしょうか。

A 子どもたちの交流事業は、千寿第五小学校の理解を得ていく中で、なるべく早い時期に実施していきたいと考えています。

千寿第五小学校を残して欲しいという気持ちからの活動だと認識しています。教育委員会として、そのことに意見を申し上げることはできませんが、子どもたちの心のケアは教育委員会あげて対応していきます。

教員の数は統合後の学級数により決まります。教員の異動のサイクルもありますが、子どもたちが不安にならないような配慮をしたいと考えています。

統合後の2年間は、現在の千寿第五小学校にある学童保育室をそのまま残す予定です。最終的に統合新校の位置か、または千寿第五小学校の位置のどちらに設置するのか、担当課と検討を進めていきます。

それぞれの教育活動を踏まえて、統合校をどのような学校にしていくのか、学校長や関係者等との話し合いを進めながら、子どもたちが上手くとけ込めるように教育委員会として努めていきたいと考えています。

合同の保護者説明会については、両校のPTA代表等に趣旨や方法などを相談したうえで検討したいと考えています。

教育委員会では、「開かれ型CS」を多くの学校で進めていきたいと考えており、統合校でも「開かれ型CS」に取り組んでいくことができると考えています。

五反野小学校の保護者のみなさんからいただいた主な意見と教育委員会からの回答

Q 避難所・プレハブ等に関すること

五反野小学校を改築している期間の避難所はどのようになるのでしょうか。避難所を明確にしたいとお願いいたします。

千寿第五小学校の校舎を活用している期間は、プレハブ校舎を建設するため、校庭が狭くなると思います。運動会等の行事の際にはどこで行なうことを想定していますか。

A 五反野小学校を改築している2年間と、最終的に千寿第五小学校の位置から五反野小学校の位置に移った後の避難所につきましては、災害対策課と協力し、地域の方々のご意見を聞きながら検討を進め町会等を通じて周知を図ってまいります。

学校との調整も必要となりますが、近隣の学校等の校庭をお借りすることを考えています。

10月から11月にかけて、両校3回ずつ保護者説明会を実施させていただきました。たくさんのご説明の機会をいただきありがとうございました。

千寿第五小学校および五反野小学校に関係する地域や保護者のみなさまの学校に対する愛着や強い想いは、教育委員会として十分認識しております。しかしながら、将来の子ども達のために、両校の歴史や文化、想いや願いを伝え合う中で、これまで以上に地域に愛される小学校としていくことができると教育委員会では考えています。

これまで、両校の関係者のみなさまからいただいたご意見や、今後多くの学校が施設更新を迎えることなどを総合的に判断し、平成24年1月に実施計画を正式に決定します。今後も、子ども達の教育環境の向上に向けて、保護者のみなさまや地域の方々への説明と意見交換をさせていただきながら計画を進めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校教育部 学校適正配置担当課 中村・神保・長門

両校の保護者説明会の中で多くのご意見をいただきました。紙面の関係上、主な質疑を掲載しております。